



第5号様式(第5条)

政務活動費収支報告書

令和7年5月23日

印西市議会議長 近藤 瑞枝 様

会 派 名 歩
代表者氏名 海老原 作一
経理責任者氏名 海老原 作一

令和7年5月22日付け印西議指令第153号で交付決定のあった政務活動費について、印西市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により下記書類を添えて報告します。

記

添付書類

- 1 政務活動費収支内訳書
- 2 政務活動費実施報告書

政務活動費収支内訳書

会 派 名 步

代 表 者 氏 名 海老原 作一

経 理 責 任 者 氏 名 海老原 作一

1. 収支実績 (円)

収 入 A	支 出 B	差 引 A-B
60,000	3,535	56,465

2. 収支内訳

(1) 収入

項 目	内 容	金 額 (円)
政務活動費	30,000円×2月×1人	60,000
合 計		60,000

(2) 支出

項 目	内 容	金 額 (円)
調査研究費	市の事務、地方行政等に関する調査研究の経費	3,535
研修費	研修会の開催・研修会への参加に要する経費	0
広報費	会派活動及び市政に関して市民への報告に要する経費	0
広聴費	市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取等に要する経費	0
資料作成費	資料作成費・コピー機使用料等	0
資料購入費	図書等の購入費	0
人件費		0
合 計		3,535

備考

- 1 使途基準の使途項目ごとに分類した。
- 2 領収書等を添付した。

政 務 活 動 費 事 業 実 施 報 告 書

件名 調査研究費

会 派 名 歩
代表者氏名 海老原 作一

1. つくば市視察

実 施 日 令和7年5月7日

参 加 者

会派「歩」 海老原作一

会派「新政」 軍司俊紀・板橋睦・津田憲吾

会派「日本共産党」山田喜代子

視察 内容 「義務教育学校の詳細及びそのメリット」について

合計支払額 3,535円

支出証明書

1 支払金額 3,535 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和7年5月7日

会派名 歩
代表者名 海老原 作一

区分	調査研究費	研修費	広報費	広聴費
	資料作成費	資料購入費	人件費	
内訳	交通費（自動車借上料）			
理由	つくば市への行政視察に際し			
債権者 住所・氏名	印西市中央南1-1-1			
	株式会社トヨタレンタリース新千葉 千葉ニュータウン中央南口店			



貸渡料金精算明細書 (兼 ご請求書)

Rental Agreement

お客様控

貸渡人

株式会社トヨタレンタリース新千葉

千葉ニュータウン中央駅南口店
印西市中央南1-1-1

発行年月日: 令和 7年 5月 7日

貸渡N: 6198301

RA610R

電話番号0476-48-7111

(税込)

借名 称 軍 司 俊 紀 様
受住 所 千葉県印西市西の原2-3-6-104
人

項 目	予定料金	精算料金
基本料金	15,400	15,400
カード割引額(0%)	0	0
その他割引額(0%)	0	0
*	0	0
小 計	15,400	15,400
免責補償料	1,100	1,100
特別装備料	0	0
添付品料金	550	550
ワンウェイ料金	0	0
燃料代		629
引取配車料	0	0
ご 利 用 額	17,050	17,679
リース無償代車		0
N O C		0
免責実費料		0
お 支 払 額	17,050	17,679
予 約 金	0	0
船 乗 車 券	0	0
当 日 預 り 金	17,050	17,050
現金		
預 り 金 合 計	17,050	17,050
マイル・ポイント利用	0	0
ご 請 求 金 額	0	629

<お貸しする車両>

貸渡車両 /7HEV(2201-) 燃料 ガソリン
登録N:市川 300わ0151

料金クラス W2-K 車両クラス W2-K

<ご利用内容>

	予 定 貸 渡	貸 渡	メーター(Km)
着	5月 7日20時00分	5月 7日17時09分	63,699
発	5月 7日 9時14分	5月 7日 9時14分	63,617
利用分	0日10時間46分	0日 7時間55分	82

料金種別 一般料金 料金割引率 0%

添 付 品 安心Wプラン 1

乗車人数 0名

返却営業店舗千葉ニュータウン 0476-48-7111 返却府県県内

運転者氏名 軍 司 俊 紀 様

株式会社 トヨタレンタリース新千葉
登録番号: T9040001008229

今回ご利用額 17,679円
10%対象 17,679円 内消費税 1,607円

TOYOTA Rent a Car

トヨタレンタカー予約センター

0800-7000-111 無料

http://rent.toyota.co.jp

現金	629
この請求書内額	

領 収 書

領収書N: 0618047

令和 7年 5月 7日

印西市議会会派「新政」「歩」様

Receipt

領 収 金 額 17,679 円

現金・小切手 17,679 円
クレジット 0 円
交通系IC 0 円

(税抜金額 16,072 円)

トヨタレンタカーをご利用いただき、誠に有り難うございます。
ご利用料金として上記金額を正に領収いたしました。
(なお、扱者印無きもの、又は金額訂正したものは無効です)

収入印紙

営業店舗 千葉ニュータウン
住 所 印西市中央南1-1-1
電話番号 0476-48-7111

株式会社トヨタレンタリース新千葉

本社 千葉市中央区登り町7-1

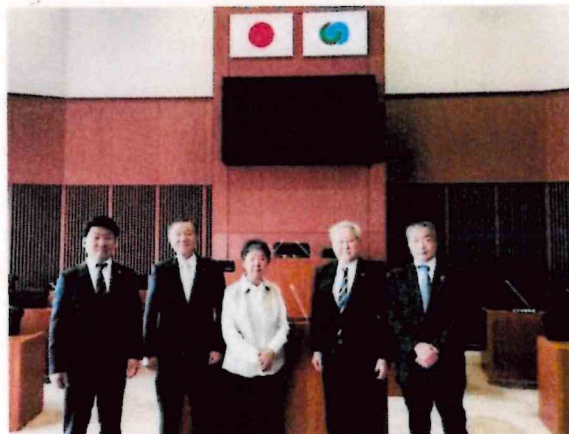
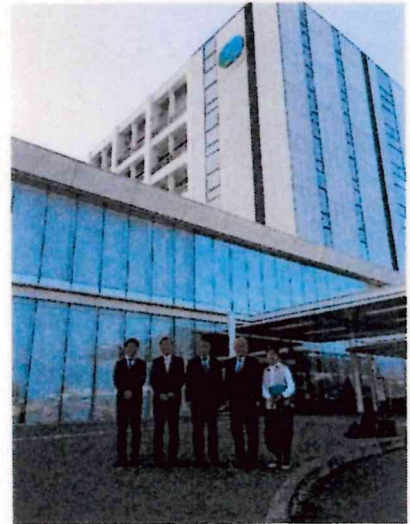
扱者印

17,679 ÷ 5人 × 1人 = 4353.5

報告用写真

会派視察 「つくば市」

2025/5/7



別紙 1

印西市議会会派「歩」視察報告

視察日 令和7年5月7日

「つくば市」 視察項目：「義務教育学校の詳細及びそのメリット」について

【つくば市の概要】

つくば市は、茨城県の南西部に位置し、茨城県の県庁所在地水戸市から南西に約 50 キロメートル、首都東京から北東に約 50 キロメートル、成田国際空港（成田市）から北西に約 40 キロメートルの距離に位置しています。面積は 283.72 平方キロメートルで、これは県内で 4 番目の広さになっています。北に関東の名峰筑波山を擁し、東には我が国第 2 位の面積を有する霞ヶ浦を控え、あわせて水郷筑波国立公園に指定されています。また、筑波山地域を除く市域の大部分は、筑波・稲敷台地と呼ばれる標高 20～30 メートルの関東ローム層に覆われた平坦な地形であり南北に流れる小貝川、桜川、谷田川、西谷田川などの河川は、周辺の平地林、畑地あるいは水田等と一体となって落ち着いた田園風景を醸し出しています。気候については、年間平均気温が 14.9 度と温暖な地域であり、年間降雨量は、1,407.0 ミリメートルとなっています。（平成 28 年度）また、降雪は年に 2～3 回程度で、特に冬季に吹く「筑波おろし」と呼ばれる乾いた冷たい風は、筑波山南部地域の特徴となっています。また、市の総面積は 283.72 平方キロメートルです。

つくば市 HP[つくば市の位置と地勢]より

《視察の内容》

義務教育学校の詳細及びそのメリットについて

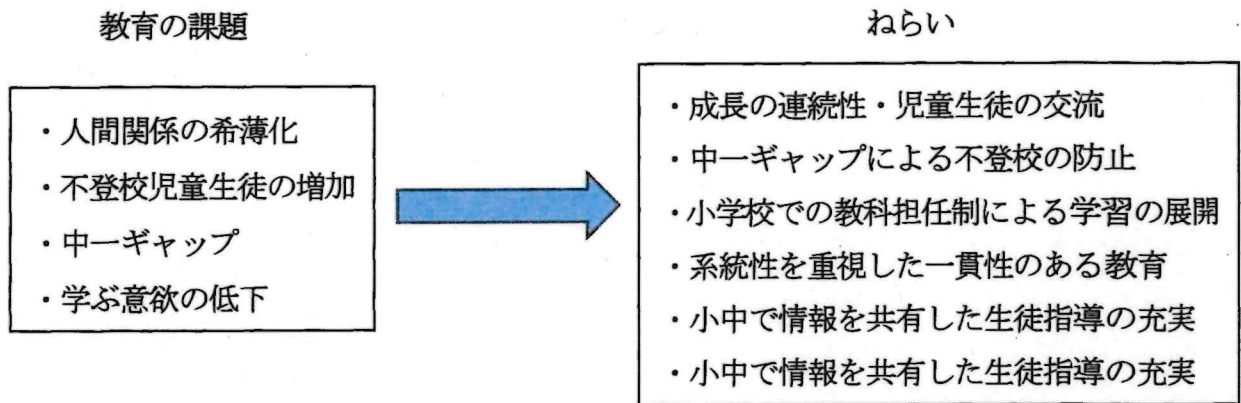
「つくば市の小中一貫教育」について

1. つくば市の学校

令和 7 年度	小学校	32 校	
	中学校	14 校	
	義務教育学校	4 校	
	幼稚園	15 園	
	学 園	18 学園	（うち義務教育学校 4 学園）

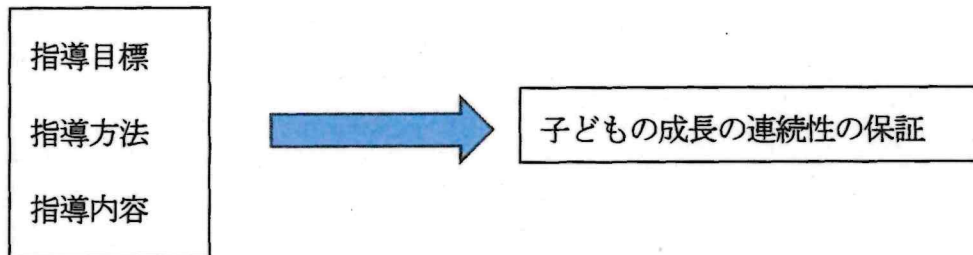
（同じ中学校区の小・中学校を学園として、小中一貫教育を展開）

2. 小・中一貫教育導入の背景とねらい



年度	内 容
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会を中心とした小中一貫教育推進委員会の発足
平成20年度	<ul style="list-style-type: none"> ・吾妻中学校区による実践研究
平成21年度	<ul style="list-style-type: none"> ・吾妻中学校区、並木中学校区、高崎中学校区による実践研究 ・実践参考書「つくば市小中学校教育カリキュラムの構想 —連続性のある学びのために—」の発行
平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> ・並木中学校区、高崎中学校区、つくば西中学校区による実践研究 ・小中一貫教育推進委員会の設置 ・「つくば市総合教育研究所」の設立、8月4日 ・実践参考書「つくば市小中一貫教育カリキュラム —各中学校区実践事例と研究協力員の提言—」の発行
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・筑波西中学校区、竹園東中学校区、桜中学校区による実践研究 ・小中一貫教育推進委員会の設置 ・小中一貫教育研究つくば大会、11月24・25日 ・文部科学大臣より「教育課程特例校」指定、12月22日 ・実践参考書「つくば市小中学校教育カリキュラムの構想 —各学園の実践と教科等研究協力員の提言—」の発行
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・15学園（市内小中学校）で小中一貫教育の完全実施 ・施設一体型小中一貫教育「春日学園」開園 ・継続的実践研究（つくば竹園学園、さくら学園、つくば紫峰学園、つくば豊学園、春日学園） ・「つくば発！小中一貫教育が世界を変える 新設『つくばスタイル科』の取組」の発行

3-1. 具体的な取組 9年間を見通した教育計画
教員の共通理解 保護者・地域の協力



3-2. 具体的な取組 9年間を見通した教育計画



- ・カリキュラムの連続性
- ・教育課程の弾力的な運用
- ・資質・能力の育成
- ・異学年交流、小小交流体験

3-3. 具体的な取組 つくばスタイル科

1. つくばスタイル科を支える発信型PBL (Project Based Learning) 学習
2. 発信型PBL学習を効果的に行うためのカリキュラム・マネジメント
3. つくばスタイル科を通して育成する「つくば21世紀型能力」

《質疑応答 事前質問を中心に

Q: 「中1ギャップの解消」にはどの程度効果があったか。

A: 不登校児童生徒の経年増加率は、令和5年度6年生から令和6年度7年生で37%で他学年と比較して低い。

- ・教育支援センター2カ所 ・相談体制の構築
- ・支援室 (校内フリースクール) 設置 教員、会計年度任用職員

Q: 市内の義務教育学校の教員は、小中両方の教員免許を持っているか。

A: 市内の義務教育学校教諭で小・中両方の教員免許を所持している割合は86.6%で、赴任後に免許取得をする方もいる。

Q: つくば市では独自に義務教育学校の教職員を採用しているか。

A：教職員はすべて茨城県が行っている。市では会計年度職員を採用している。

Q：小学校では、どの学年がどの教科で教科担任制が行われているか。

A：学校規模や専科教員の配置数により異なる。高学年を中心に、教職員の専門性や授業時数のバランスを考慮し各校で決めている。

Q：転出入の取り扱いや学区について

A：他市町村から義務教育学校への転入は可能。小中学校と同様に市が通学区域を指定している。安全や距離に配慮し、指定学校の変更が可能な区域もあり、一部の区域では学校を選択できる。

Q：義務教育学校の特色は、だれがどのように醸成してきたか。

A：校長を中心にグランドデザインを作成している。国・県・市の方針や地域の特性を盛り込み、具体的な教育活動に反映させる。

Q：義務教育学校の学校行事の運営は、どのように行っているか。

A：6学年の卒業式や7学年の入学式は行わない。進級式のような行事、運動会、音楽会は学校ごとに方法が異なる。

Q：義務教育学校の運営について、国や県と情報交換を行っているか。

A：国や県との情報交換は行っていない。小中一貫教育全国連絡協議会に加盟し、義務教育学校に関する情報共有・意見交換を継続的に実施。

Q：義務教育学校のメリットは。

A：中一ギャップが少ない。異学年交流が容易にできる。前期課程・後期課程の壁を越えた教科担任ができる。出張や休みの教員がいる場合の填補には比較的困らない。

Q：義務教育学校の課題は。

A：・前期後期の一単位時間の違いによる時間割の編成。それぞれの学校で工夫する。

・6年生のリーダー性の向上。7年生がリーダー

・大規模学校での保護者参観等学校行事の開催方法。駐車場・駐輪場の確保が出で来る

【視察の成果等】

つくば市では、平成19年度から教育委員会を中心に小中一貫教育推進委員会を発足させて、小中一貫教育導入に向け背景（課題）を明確に認識したうえで、ねらい（求める教育・学校の姿）をさだめ翌年にはモデル中学校区を選定して実践研究を開始している。

その後、段階的に実践研究と合わせて実践参考書「つくば市小中学校教育カリキュラムの実践」を作成し、2年後には、「小中一貫義務教育推進委員会」を設置、「つくば市総合教育研究所」を設立し、その翌年には文部科学省から教育課程特例校の指定を受け、5年後の平成24年度には市内全小中学校で小中一貫教育の完全実施に至る。このように計画的に事業を推進するとともに、その過程においては、教職員の共通理解や保護者・地域の協力を得ながら、9年間を見

通したこどもの成長の連続性の保証及び学びの連続性を確立している。

印西市においても義務教育学校の設立が日程に上がっているなかで、学校施設の整備はもとより、9年間を見通した教育計画を構築し、子供の成長の連続性の保証及び学びの連続性をいかに担保していくかが重要なポイントであると考察できる。また、つくば市のように同じ中学校区の小・中学校を学園として、小中一貫教育の展開についても調査研究をしていくことも必要である。印西市の特色ある教育を構築していくことが重要であると考察する。

以上、視察により確認できた事項や考察をもとに、今後の会派及び議員活動に活用していきたい。